

# 特別賞 賞 CLA 2011

## 第28回全国都市緑化かごしまフェア“花かごしま2011”

株式会社プレック研究所

石垣良弘・福岡 薫・棚瀬新一朗・木寺由香葉・石原聡子・井崎 誠・宮元亮祐

「第28回全国都市緑化かごしまフェア“花かごしま2011”」は、都市緑化の普及啓発と緑豊かな都市づくりを目的とした花と緑の祭典である。九州新幹線鹿児島ルート全線開業にあわせて平成23年3月18日から同年5月22日までの66日間にわたり開催された。

フェアの中心となるメイン会場，サブ会場には，目標を大きく上回る約96万人が来場し，大盛況のうちに幕を閉じた。

当社は，フェア全体計画から会場設計，設計監修に至る一連の業務を行い，立地を活かしたダイナミックな会場で鹿児島島の多彩な自然・文化の魅力を発信し，

身近に，楽しく緑にふれる機会を創出することで，多くの来場者を“花と緑による真心のこもったおもてなし”で出迎え，「南からの風にのせて！～よかまち，よか花，よか緑～」の開催テーマを実現した。

### □メイン会場（吉野公園）

#### 一鹿児島島の魅力を発信する会場づくり

メイン会場では，主催者による展示を中心に，自治体や企業・団体などによる庭園出展，都市緑化技術や環境技術などの出展を展開した。

桜島・錦江湾への眺望や雄大な芝生広場などの立地特性を最大限に活かした施設配置や会場修景で，来場



メイン会場「花市のまち」

桜島へのビスタを強調する沈床花壇。薩摩切子の紋様で鹿児島らしさを表現

## 作品概要

作品名：第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」  
 所在地：鹿児島県鹿児島市  
 発注：第28回全国都市緑化かごしまフェア実行委員会  
 設計：基本計画：株式会社ブレック研究所  
 実施計画：ブレック研究所・グリーンダイナミクス・中村測量設計共同企業体  
 設計監修：株式会社ブレック研究所  
 監理：株式会社大翔（旧株式会社中村測量設計）  
 設計期間：基本計画：平成20年9月～平成21年3月  
 実施計画：平成21年7月～平成22年3月  
 設計監修：平成22年5月～平成23年5月  
 施工期間：平成22年11月～平成23年5月  
 規模：メイン会場：30.9ha，サブ会場：50.7ha  
 主要施設：屋外展示・出展，展示・出展パビリオン，修景花壇，飲食・物販施設

## 作品評

この作品は、平成23年3月18日から5月22日までの66日間にわたり鹿児島県で開催された、第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」の基本計画・設計・設計監修を行ったものである。

会場はメイン会場、サブ会場、まちなか会場であるが、メインとサブ会場は既設の公園を活用したフェア会場である。メイン会場の吉野公園に計画された正面の桜島を背景とした花壇や、緩傾斜を利用した自治体や企業の出展による「花絵巻」は緑化フェアならではのダイナミックな花壇であり、周辺や既設の景観を活かした会場計画として高く評価できる。また、サブ会場の鹿児島ふれあいスポーツランドでは良く管理された芝生に花壇が映え、フェアのマスコットキャラクター「ぐりぶー」をテーマに展開したという会場構成は、県民により親しみやすく、花と緑を提供した会場計画としてまともなものである。

者に感動を与える会場づくりを行った。

また、鹿児島の風土を題材とした展示や修景などにより、来場者に鹿児島の多彩な自然・文化の魅力を伝えるとともに、交流の拠点づくりを行った。

## □サブ会場（鹿児島ふれあいスポーツランド）

## 一県民がつくり、県民が楽しむ会場づくり

サブ会場は、県民出展作品を中心とした参加型の会場づくりを行った。かごしまフェアのマスコットキャラクター「ぐりぶー」をテーマにしたストーリー性のある会場構成で、ランドスケープと各出展作品とを一体的に見せつつ、出展作品や植物に「見て」、「触れて」、五感で楽しめる会場とした。



メイン会場「いこいの野」

自治体出展などの出展エリアは、緩やかな起伏との広がりのある芝生広場を活かし、花々が織り成す雄大な「花絵巻」として演出



メイン会場「暮らしの庭」

田の神さあや大根やぐら、アマン壺畑など、鹿児島の豊かな大地が育んだ農の風景を演出した庭園



メイン会場「島の華園(かえん)」

鹿児島県の28の有人離島を表現した美しい花壇群  
 南国の島々を巡る旅をモチーフに、南北600kmにわたる鹿児島の多彩な自然・文化の魅力を表現



サブ会場「わんさか花市場」

会場のシンボルとなった巨大ぐりぶーのモザイカルチャー